

墨田区のお知らせ2013.12.11 NO.1731
(毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、
墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、
区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…区の財政状況の公表
- 4面…年末年始の資源物・ごみの収集
- 5面…は～もに～
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●12月11日：すみだ生涯学習センターが開館した日

平成6年のこの日、ユートリヤの愛称で親しまれている「すみだ生涯学習センター」(東向島2-38-7)が開館した。区民の生涯学習の拠点として、館内には、学習情報を提供する情報コーナーや、視聴覚コーナー等が設けられている。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

“誰もが訪れたくなる場所”の実現へ ひきふね図書館

ひきふね図書館(京島1-36-5)では、“誰もが訪れたくなる図書館”をめざし、「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」等のボランティア団体とともに、利用する区民の視点で考えた事業を行っています。今後も、斬新で魅力的な事業を積極的に展開していきますので、ぜひ、ご期待ください。

協働により創っています

皆さんにとって、図書館はどのような場所でしょうか。本を借りたり、何かを調べたりする場所ですか。それとも、あまり行かない場所ですか。ひきふね図書館では、“新たな知識・情報と出会う場所”として、これまで利用していなかった方も訪れたくなるよう、ボランティア団体等との協働で様々な事業を展開しています。

その一つに、ひきふね図書館の催

し等へ区民が積極的に携わるため結成した「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」との協働事業があります。これまでに、館内での「ぬいぐるみお泊まり会」や「コンサート」、大人を対象とした「絵本読書会」等、利用する区民の視点で考えたユニークな催しを実施してきました。また、区内在住の中学生が同世代向けの催しを企画する事業である「おもてなし課」のほか、館内の本を活用した「ビジネス支援講座」も実施しています。



「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」との協働により実施している催しは、様々な世代の多くの方が図書館を訪れるきっかけとなっています

今後も、本を借りたり、調べものをしたりする場所として利用してもらうことはもちろん、これらの事業を協働で進めていくことで、“誰もが

訪れたくなる図書館”づくりを進めていきます。ぜひ、ご利用ください。

【問合せ】ひきふね図書館 公5655-2350

「まちライブラリー」講演会の開催

寄贈された本へ、寄贈者や読んだ方がメッセージを綴ることで、“人の縁”を紡いでいく活動「まちライブラリー」に関する講演会を開催します。
【とき】平成26年1月11日(土) 午後2時～3時 *開場は午後1時45分
【ところ】ひきふね図書館(京島1-36-5)【テーマ】「本」を通じて「人」と出会う文化拠点づくり【定員】先着20人【費用】無料【申込み】当日直接会場へ【問合せ】ひきふね図書館 公5655-2350

メールマガジン配信中！

「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」が企画・実施する様々なイベントの情報を、毎月1回程度無料で配信するメールマガジンです。
メールマガジンへの登録には、下のコードを携帯電話等で読み取り、登録用のホームページに接続するか、
✉ a0001599675@mobile.mag2.comへ空メールを送って手続きをしてください。
コード



区民目線の企画で、皆さんのニーズに応えます



「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」のメンバー
(写真左から)北村志麻さん、小田垣 宏和さん

図書館利用者を増やすため、私たちの会社員としての経験や、図書館にある多くのビジネス書などを活用し、「ビジネス支援講座」を開いています。パートナーズには、ほかに20人のメンバーがいますが、それぞれユニークな活動をしていますよ。

これにより、本を貸すという従来の図書館の役割に、新たな役割を加えることができるので、これまで図書館と縁のなかった方が利用するきっかけになるとともに、新たな出会いやコミュニティづくりにもつながると思います。そして、地域の皆さんから「ないと困る」と言ってもらえる図書館にしていきたいです。

来年3月末には、開館1周年記念として、みんなが持ち寄った本で交流を深める「植本祭」を開催する予定です。ぜひ、ご期待ください。

私たちの活動で、もっと楽しい場所にします



「ひきふね図書館おもてなし課」のメンバー(写真左から)
金澤綾音さん、田村珠雲さん、秋山剛慶さん、澤本一志さん

私たち「おもてなし課」は、パートナーズの事業の一つとして、区内在住の中学校1年生～3年生の10人で活動しています。普段は、本を借りたり勉強したりするときに図書館を利用しているのですが、「おもてなし課」での活動は、利用者を“もてなす”側として企画を考えるので新鮮ですし、楽しいです。

今年の夏休みには、私たちが出した問題を館内の本を使って解いていく「調べ物競争」を開催しました。そして今は、次の企画「検定コーナー」についての話を進めていて、“漢検”や“英検”などに役立つ情報が満載のコーナーにするつもりです。

こうした活動を通して、図書館を今まで以上に楽しい場所にしたいです。そうすれば、同じ年代の人たちも、もっと大勢利用してくれるようになると思います。

平成24年度決算と 25年度上半期財政状況

24年度決算のあらまし

24年度一般会計の歳入面では、特別区税と特別区交付金とともに前年度決算額を小幅ながら上回ったものの、本区の財政運営を改善するまでには至らず、引き続き厳しい歳入状況となりました。

一方、歳出面では、職員定数の削減などの行財政改革を進め、経費の節減を図りました。

こうした中、墨田区基本計画に掲げる3つのリーディングプロジェクトである、東日本大震災を教訓とした各種防災対策事業や、東京スカイツリー街区内の「産業観光プラザすみだ まち処^{どころ}」を核とした国際観光都市づくり事業、さらには、保育園待機児童の解消や高齢者みまもり

対策等の福祉事業を推進しました。このほか、京成曳舟駅前東地区の再開発、八広地域プラザやひきふね図書館の整備等にも取り組みました。

この結果、24年度の一般会計歳入歳出決算は、27億8416万円の黒字決算となっています（図1）。

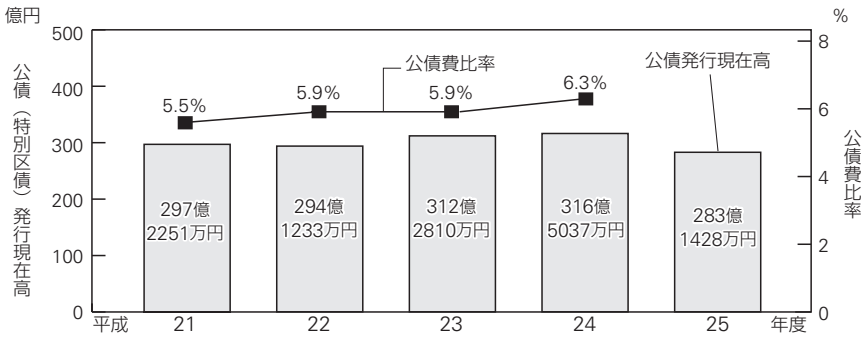
また、特別会計も、黒字決算となりました（表1）。

この決算値を、自治体の財政状況を判断する指標でみると、財政の弾力性を示す経常収支比率は、特別区税や特別区交付金の増収などにより92.7%（前年度92.8%）とわずかに改善しました。また、標準的な財政規模に対して、特別区債の返済等に要する経費に充てられる一般財源の割合を示す公債費比率は、6.3%（前年度5.9%）に増加しました（図2）。

24年度特別会計決算の歳入・歳出の内訳(表1)

国民健康保険特別会計	歳入	国民健康保険料	65 億 7776 万円	(22.7%)
		国・都支出金	78 億 9730 万円	(27.3%)
		療養給付費等交付金	15 億 460 万円	(5.2%)
		前期高齢者交付金	53 億 3109 万円	(18.4%)
		繰入金・その他	76 億 3405 万円	(26.4%)
		歳入合計	289 億 4480 万円	(100.0%)
	歳出	保険給付費	186 億 936 万円	(65.2%)
		後期高齢者支援金等	38 億 6433 万円	(13.5%)
		介護納付金	16 億 9164 万円	(5.9%)
		総務費・その他	43 億 9588 万円	(15.4%)
介護保険特別会計	歳入	介護保険料	35 億 1145 万円	(21.0%)
		国・都支出金	59 億 1280 万円	(35.3%)
		支払基金交付金	43 億 7699 万円	(26.1%)
		繰入金・その他	29 億 5068 万円	(17.6%)
		歳入合計	167 億 5192 万円	(100.0%)
	歳出	保険給付費	148 億 1290 万円	(91.7%)
		総務費・その他	13 億 4926 万円	(8.3%)
		歳出合計	161 億 6216 万円	(100.0%)
後期高齢者医療特別会計	歳入	後期高齢者医療保険料	18 億 3995 万円	(38.9%)
		繰入金・その他	28 億 9377 万円	(61.1%)
		歳入合計	47 億 3372 万円	(100.0%)
	歳出	広域連合納付金	40 億 3031 万円	(89.5%)
		総務費・その他	4 億 7019 万円	(10.5%)
		歳出合計	45 億 50 万円	(100.0%)

公債(特別区債)発行現在高と公債費比率の推移(図2)



② 25年度の額は9月30日現在の数字です。
③ 24年度の発行現在高が増えたのは、24年度中の償還額約37億円に対し、学校施設・地域プラザ等の建設やまちづくり、道路・公園整備等に約41億円の特別区債を発行したためです。

☎ = 電話 FAX = ファクス ✉ = Eメール 🌐 = ホームページアドレス

広告 ケーブルテレビもネットも電話もまとめてお得に。ご相談は地元の J:COM すみだ・台東へ ☎0120-999-000 (9:00 ~ 21:00)

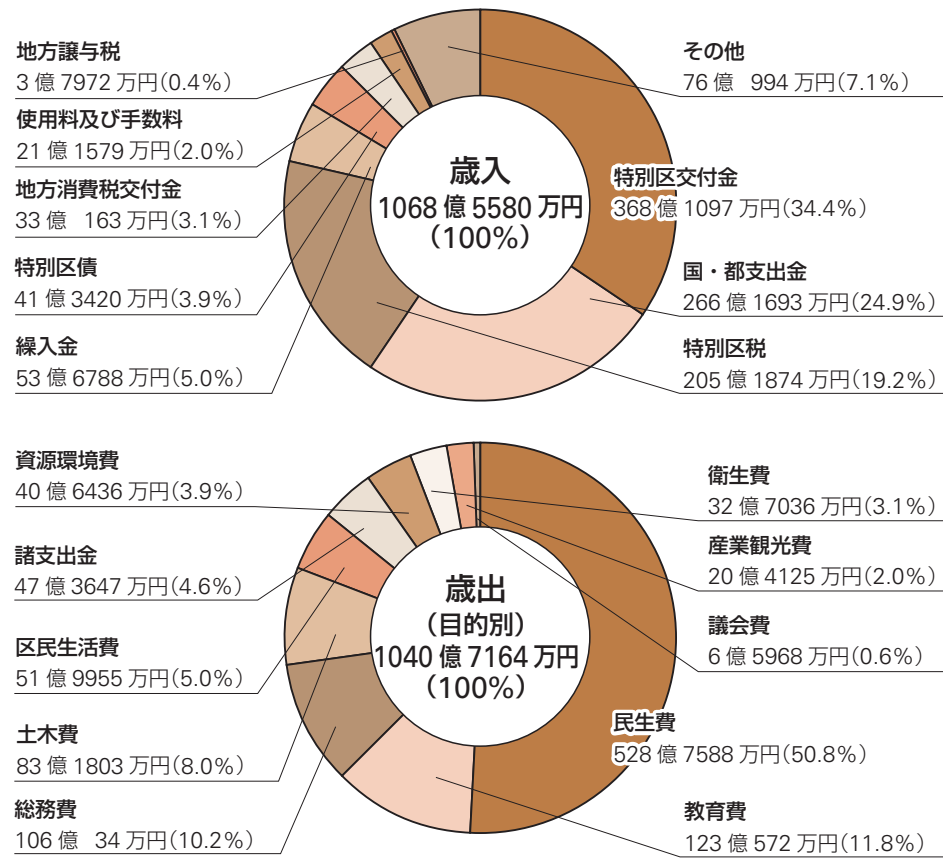
区では、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今号では、平成24年度各会計決算の結果と25年度上半期の財政状況をお知らせします。

なお、詳細については、区ホームページでもご覧になれます。

[問合せ] 財政担当 ☎5608-6232

*各表中の数値は、四捨五入により合計額が合わない場合があります。

24年度一般会計決算の歳入・歳出の内訳(図1)



区民1人あたりの使いみち(24年度一般会計歳出決算)

24年度一般会計歳出決算額を人口の金額41万1345円の使いみちは下
25万3003人（25年3月31日現在、外 表のとおりです。

国人を含む）で割った、区民1人あた

区民1人あたりの24年度一般会計歳出決算額 41万1345円				
福祉の充実（民生費） 20 万 8993 円	学校教育、生涯学習（教育費） 4 万 8639 円	行政情報化、広報、区民相談、防災対策（総務費） 4 万 1898 円	公園・道路管理、まちづくり（土木費） 3 万 2877 円	文化振興や区民施設、地域活動（区民生活費） 2 万 551 円
特別区債の償還など（諸支出金） 1 万 8721 円	環境保全、清掃、リサイクル（資源環境費） 1 万 6065 円	健康の増進（衛生費） 1 万 2926 円	産業・観光振興、消費生活（産業観光費） 8068 円	議会の運営（議会費） 2607 円

25年度上半期の財政状況

景気は個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかに回復しつつあります。この影響により、特別区交付金等の収入が前年度と比べ

増加していますが、本区が抱える深刻な財源不足を補うまでには至っていない状況です。このため、効率的・効果的に事業を執行し、経費の縮減に取り組んでいます。25年度上半期の執行状況は下表のとおりです（表2）。

25年度予算の上半期の収支状況(9月30日現在)(表2)

会計区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1030 億 6477 万円	435 億 5805 万円 (42.3%)	421 億 7181 万円 (40.9%)
国民健康保険特別会計	298 億 6800 万円	128 億 4333 万円 (43.0%)	118 億 1968 万円 (39.6%)
介護保険特別会計	174 億 300 万円	83 億 3552 万円 (47.9%)	68 億 9224 万円 (39.6%)
後期高齢者医療特別会計	46 億 6200 万円	23 億 2363 万円 (49.8%)	15 億 8165 万円 (33.9%)

④収入額・支出額欄の（ ）内の数字は、それぞれ予算現額に対する割合です。

24年度決算に基づく財務諸表

■貸借対照表(表3)

会計年度末（基準日）時点で、地方公共団体がどのような資産を保有し、将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示しています。

24年度は、資産合計が約9820億円、負債が約722億円、純資産は約9098億円となりました。

【資産の部】		【負債・純資産の部】（表3）	
借方	24年度末	貸方	24年度末
金融資産	276 億 298 万円	流動負債	101 億 9303 万円
▶ 資金	64 億 339 万円	▶ 未払金及び未払費用	24 億 1244 万円
▶ 金融資産（投資、債権等）	211 億 9959 万円	▶ 引当金（賞与引当金）	9 億 7905 万円
		▶ 預り金（保管金等）	23 億 1352 万円
		▶ 公債（短期）	34 億 309 万円
		▶ 短期借入金	0 万円
		▶ その他流動負債	10 億 8493 万円
非金融資産	9544 億 1310 万円	非流動負債	619 億 9486 万円
▶ 事業用資産	2405 億 6188 万円	▶ 公債	282 億 4728 万円
▶ インフラ資産	7138 億 5122 万円	▶ 借入金	0 万円
▶ 繰延資産	0 万円	▶ 引当金（退職給付引当金等）	187 億 2637 万円
		▶ その他の非流動負債	150 億 2121 万円
		負債合計	721 億 8789 万円
		純資産合計	9098 億 2819 万円
資産合計	9820 億 1608 万円	負債・純資産合計	9820 億 1608 万円

■行政コスト計算書(表4)

行政サービスに要したコスト(費用)と、その財源の調達先を示した表です。

24年度は、約1350億円の総行政コストに対し、経常収益は約48億円でした。その結果、純行政コストは約1302億円となりました。このコストは区民の皆さんの税金や国および都からの支出金などで賄われています。

区分			総額
経常費用 (総行政コスト)	経常業務費用	人件費（職員給料、退職給付費用等）	215 億 413 万円
		物件費（減価償却費、消耗品費等）	86 億 5918 万円
		経費（委託費、賃借料等）	165 億 6058 万円
		業務関連費用（公債費利払分等）	11 億 8056 万円
	移転支出	他会計への移転支出	0 万円
		補助金等移転支出	554 億 3778 万円
		社会保障関係費等移転支出	310 億 9898 万円
		その他の移転支出	5 億 6931 万円
		計（A）	1350 億 1052 万円
	経常収益	業務収益（使用料、手数料等）	36 億 8170 万円
		業務関連収益（受取利息等）	11 億 1766 万円
		計（B）	47 億 9936 万円
純経常費用（純行政コスト）（B）－（A）			△ 1302 億 1116 万円

㊦行政コストには、公共施設の整備などの資産形成につながる支出は含まれません。

●事業別コスト計算書

施設の管理運営に要したコスト（費用）と、その財源としての利用者負担金や区民税等の割合、さらには利用者1人あたりのコストなど、特定の事業におけるコストの内容や費用負担の関係を示した表です。

区分		伊豆高原荘	すみだ健康ハウス	すみだスポーツ健康センター	区総合体育館	両国屋内プール	児童館	保育園	すみだ産業会館	すみだ郷土文化資料館
行政コスト	人にかかるコスト	120 円	50 円	13 円	1 万 612 円	41 円	33 円	145 万 1368 円	0 円	2248 円
	事業の実施にかかるコスト	7566 円	2635 円	951 円	35 万 9630 円	1536 円	1168 円	76 万 3426 円	10 万 6203 円	1400 円
	その他のコスト	0 円	0 円	0 円	0 円	156 円	1 円	2710 円	0 円	319 円
	行政コスト計（A）	7686 円	2684 円	964 円	37 万 242 円	1732 円	1201 円	221 万 7503 円	10 万 6203 円	3965 円
収入項目	利用者負担金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	19 万 6427 円	0 円	44 円
	国・都支出金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1 円	5492 円	0 円	0 円
	その他特定財源	1 円	50 円	72 円	0 円	97 円	1 円	4364 円	9 万 2211 円	28 円
	収入計（B）	1 円	50 円	72 円	0 円	97 円	1 円	20 万 6284 円	9 万 2211 円	73 円
区民税等の一般財源充当額（A－B）		7685 円	2635 円	892 円	37 万 242 円	1635 円	1200 円	201 万 1218 円	1 万 3992 円	3892 円
延べ利用者数・開館日数		1 万 3775 人	2 万 7831 人	10 万 7626 人	346 日	6 万 3697 人	53 万 816 人	2634 人	359 日	1 万 6960 人

㊦利用者1人あたりのコストおよび収入額です。ただし、保育園は入所児童1人あたりの1年間のコストおよび収入額です。区総合体育館は、人数計算が可能な「個人利用」（24年度：32万9831人）と「団体利用」（24年度：13万3968人）のほか、不特定多数の参加がある区民大会等の「大会利用」や、試合等の「観戦者」も利用者と位置づけることができます。また、すみだ産業会館の利用（24年度：利用件数5199件）についても同様に、見本市や展示会等の開催時は、利用人数が膨大となるため、これらの2施設については、1日あたりのコストとして算出しています。

㊦伊豆高原荘、すみだ健康ハウス、すみだスポーツ健康センター、区総合体育館、両国屋内プール、児童館、すみだ産業会館、保育園（5園のみ）は、指定管理者制度を導入しています。指定管理者制度を導入している一部施設では、利用者負担金が指定管理者の収入になるため、コスト計算書には含まれません。

24年度の財務諸表は、昨年度まで採用していた総務省改定モデルに代え、基準モデルを用いて作成しました。このモデルでは、整備した固定資産台帳に基づき、区保有資産や減価償却費が正確に把握できます。その結果、区の財政状況をより正しく説明できるようになりました。

■純資産変動計算書(表5)

貸借対照表（表3）の「純資産合計」に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを示した表です。

23年度末の純資産残高が約9088億円であったのに対し、24年度純資産残高は約9098億円と、1年間で約10億円増加しました。

区分	金額
前期末資産残高（A）	9087 億 6100 万円
財源変動の部	25 億 4861 万円
▶ 財源の使途（純行政コスト等）	△ 1405 億 6493 万円
▶ 財源の調達（税収、補助金等）	1431 億 1354 万円
資産形成充当財源変動の部	△ 10 億 1556 万円
▶ 固定資産の変動	11 億 28 万円
▶ 長期金融資産の変動	△ 34 億 3395 万円
▶ 評価・換算差額等の変動	13 億 1811 万円
その他の純資産変動の部	△ 4 億 6586 万円
当期変動額合計（B）	10 億 6719 万円
当期末残高（A）＋（B）	9098 億 2819 万円

■資金収支計算書(表6)

一会計年度において、資金がどのように調達・活用されたかを、3つの区分に分けて示した表です。

経常的な行政活動の収支で、24年度は約48億円の余剰が生じました。これが、道路・学校等の公共資産整備や、基金の積立・地方債の償還などの資本・財務的活動の財源となっています。その結果、24年度の資金の増加額は約2億円となり、これに期首資金残高約62億円を加えた約64億円が期末資金残高となっています。

区分		金額
【経常的収支区分】		
▶ 経常的支出（人件費、物件費、補助金、社会保障関係費等）		1290 億 5150 万円
▶ 経常的収入（租税収入、社会保険料収入、経常業務収益収入、補助金等）		1338 億 3415 万円
計（経常的収支）	(A)	47 億 8265 万円
【資本的収支区分】		
▶ 資本的支出（固定資産形成支出、長期金融資産形成支出等）		88 億 2204 万円
▶ 資本的収入（固定資産売却収入、長期金融資産償還収入等）		57 億 4645 万円
計（資本的収支）	(B)	△ 30 億 7559 万円
基礎的財政収支	(A) ＋ (B)	17 億 706 万円
【財務的収支区分】		
▶ 財務的支出（公債費支出）		57 億 2260 万円
▶ 財務的収入（公債発行収入、その他の財務的収入）		41 億 9959 万円
計（財務的収支）	(C)	△ 15 億 2301 万円
当期資金収支額	(D = A + B + C)	1 億 8405 万円
期首資金残高	(E)	62 億 1934 万円
期末資金残高	(D) ＋ (E)	64 億 339 万円

●健全化判断比率

財政状況を早期に把握し破綻を防ぐため、下表の4指標による健全化判断比率を算出しています。24年度決算では、4指標すべてが国の定める早期健全化基準を下回り、区の財政が健全であることを示しています。

区分	墨田区	早期健全化基準(参考)
実質赤字比率	－	11.25%
連結実質赤字比率	－	16.25%
実質公債費比率	0.7%	25.0%
将来負担比率	－	350.0%

㊦24年度決算では、すべての会計で黒字となったため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算出されませんでした。また、将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回ったため、算出されませんでした。



新年の幕明けを告げる美しい調べ

トリフォニーホール公演おすすめ情報

トリフォニーホールチケットセンター
☎5608-1212・錦糸1-2-3

【電話予約】午前10時～午後6時【窓口販売】午前11時～午後6時（大ホールで午後6時以降に開演する公演がある日は、その開演時間まで受け付け）
【インターネット販売】すみだトリフォニーホールのホームページで24時間受け付け（一部の公演のみ）

大人から子どもまで楽しめる「冬の絵本」

辛島 美登里コンサート WINTER PICTURE BOOK 2013「シアワセノイロ」
「サイレント・イヴ」で知られる辛島美登里が、新日本フィルハーモニー交響楽団と共に登場します。指揮、音楽監修を務めるのは、ドラマやアニメ、映画など幅広いジャンルの音楽を手掛ける千住 明。また、星美学園小学校聖歌隊の皆さんも出演し、素敵な歌声を響かせます。
さらにスペシャルゲストとして、

毎週日曜日夕方5時から的人气ラジオ番組「あ、安部礼司」から“安部礼司”と“安部 優”が登場。ラジオの登場人物が番組を飛び出し、コンサートホールにやって来ます。
大人も子どもも一緒に楽しめる、楽しいクリスマスコンサートへ、ぜひ、お越しください。

年越しはトリフォニーホールで

宮川彬良 vs 新日本フィル チョー！年越しコンサート2013→2014

すみだの年越しの風物詩となったジルベスターコンサート。今年も宮川彬良と新日本フィルでお届けします。
第1部では「買い物ブギー」、「愛のフィナーレ」といった昭和の名曲に加え、ゴッドファーザー「愛のテーマ」などの映画音楽を、第2部では「アラベスク」、「貴婦人の乗馬」等のピアノ曲や、「マツケンサンバⅡ」などの愉快的な曲をお贈りします。
バリエーション豊富なプログラムを満喫しながら、トリフォニーホールで楽しい年越しをお迎えください。



宮川彬良

新春一番のコンサート

新日本フィル ニューイヤー・コンサート2014「一年の計はお正月にあり！」
新しい年を迎えたら、恒例のニューイヤー・コンサートです。今年もシュトラウス・ファミリーの曲を中心に、新年を祝う、賑やかなコンサートをお届けします。
舞台上だけでなく、会場前やロビーでも、獅子舞踊りや鏡開きなど、お

正月ならではのイベントが目白押し。楽しみな“お年玉企画”もご用意しています。
ぜひ、“音楽の初詣”にお越しただき、楽しいひとときをお過ごしください。

天才演奏家によるベートーヴェンの作品の集大成である3大ソナタ

クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル

クリスチャン・ツィメルマンは、世界のクラシック音楽界で最も高い評価を受けているピアニストの一人です。その際のない技巧と、圧倒的な表現力で繰り広げる音色で聴衆を魅了し続けています。
今回の公演では、ベートーヴェンの作品の集大成とも言われる、ピアノ・ソナタ第30番、第31番、第32番の後期3大ソナタを奏でます。名曲と最高の演奏家が織り成す旋律を、お聴き逃しなく。



クリスチャン・ツィメルマン

オーボエ五重奏曲と弦楽四重奏曲「死と乙女」

新日本フィル室内楽シリーズX《音楽家たちの饗宴2013／2014》第3回「そなたに安息を」

シリーズでお届けしている新日本フィルの室内楽シリーズ。今回はモーツァルトとシューベルトを取り上げます。
前半はモーツァルトのオーボエ五重奏曲です。オーボエは主役になることが珍しいのですが、オーケストラや吹奏楽のチューニングはオーボエから始まるという、重要な役割を担っている楽器です。
後半はシューベルトの弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」です。シューベルトが自身の健康に不安を感じた時期に作曲されたというこの曲は、その心情を反映してか全楽章が短調で構成されています。曲を通し、シューベルトの想いを追体験してみてください。

すみだトリフォニーホールでお取り扱い中の主なコンサートチケット

とき・開演時間	公演名・曲目・出演	入場料
12月15日(日) 午後6時	辛島 美登里コンサート WINTER PICTURE BOOK 2013「シアワセノイロ」 出演：歌／辛島 美登里 指揮・音楽監修／千住明 管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団 合唱／星美学園小学校聖歌隊	S席7500円 A席5000円
12月16日(月) 午後7時	セルゲイ・シェブキン 2013年のゴルトベルク変奏曲 曲目：ベートーヴェン／6つのバガテル J.S. バッハ／ゴルトベルク変奏曲 出演：ピアノ／セルゲイ・シェブキン	S席5000円 A席4000円 B席3000円 S席バ券 8000円
12月17日(火) 午後7時	グローリー・ゴスペル・シンガーズ「クリスマス・ゴスペル2013」 曲目：ホワイト・クリスマス、恋人たちのクリスマス、アメイジング・グレイス、アイ・ウィル・フォロー・ヒム、きよしこの夜、オー・ハッピー・デイ、ジョイフル・ジョイフル、シャウト ほか 出演：グローリー・ゴスペル・シンガーズ	S席6500円 A席5000円
12月23日(祝) 午後2時	新日本フィルハーモニー交響楽団「第九」特別演奏会2013 曲目：シューベルト／水上の精霊の歌 マラー／5つのリュッケルトの歌より「私はこの世に捨てられて」 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」 出演：指揮／フィリップ・フォン・シュタイン ネッカー ソプラノ／松田 奈緒美 アルト／寺谷 千枝子 テノール／永田峰雄 バリトン／河野克典 合唱／栗友会合唱団 合唱指揮／栗山文昭 管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団	S席9000円 A席8000円 B席6500円 C席5000円 ＊25歳以下の学生は全席種3000円(先着50席)
12月31日(火) 午後10時	宮川彬良 vs 新日本フィルハーモニー交響楽団 コンチェルトンテ・スーパー チョー！年越しコンサート2013→2014 曲目：風のオリヴァストロ、買い物ブギー、愛のフィナーレ、恋のバカンス、手紙、はな、『ゴッド・ファーザー』より「愛のテーマ」、『大脱走』より「マーチ」、アラベスク、貴婦人の乗馬、歌劇《あしたの瞳 もうひとつの未来》より、深い河、シンフォニック・マンボ No.5、若いってすばらしい、マツケンサンバⅡ 出演：音楽監督・指揮・ピアノ・司会／宮川彬良 ソプラノ／鮫島 有美子 合唱／栗友会合唱団 合唱指揮／栗山文昭 管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団	S席6000円 A席4000円 ＊区内在住在勤在学者はS席4500円
平成26年1月3日(金) 午後2時	新日本フィル ニューイヤー・コンサート2014「一年の計はお正月にあり！」 曲目：J. シュトラウスⅡ世／喜歌劇《こうもり》序曲、ポルカ・シュネル「雷鳴と電光」、皇帝円舞曲 ヨーゼフ・シュトラウス／ワルツ「オーストリアの村つばめ」 E. シュトラウス／ポルカ・シュネル「速達郵便で」 P-A ジュナン(山口尚人編)／「ヴェニスへの謝肉祭」 R・コルサコフ／「スペイン奇想曲」よりⅡ. 変奏曲 ポロディン／歌劇《イーゴリ公》より「だったん人の踊り」 出演：指揮／広上淳一 独奏(フルート・ピッコロ)／渡辺 泰 司会／田添 菜穂子 管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団	S席5000円 A席2000円 ＊区内在住在勤在学者、65歳以上はS席3000円、小・中学生はS席・A席ともに1000円
平成26年1月8日(水) 午後7時	クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル 曲目：ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第30番、第31番、第32番 出演：ピアノ／クリスチャン・ツィメルマン	S席1万5000円 A席1万2000円
平成26年1月22日(水) 午後7時15分	新日本フィル室内楽シリーズX《音楽家たちの饗宴2013／2014》第3回「そなたに安息を」 [小ホール公演] 曲目：モーツァルト／オーボエ五重奏曲 シューベルト／弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」 出演：新日本フィルハーモニー交響楽団員(▶モーツァルト＝オーボエ／古部賢一 ヴァイオリン／田村 安紗美、竹中勇人 ヴィオラ／木村恵子 チェロ／上森祥平 ▶シューベルト＝ヴァイオリン／吉村知子、小池 めぐみ ヴィオラ／原孝明 チェロ／貝原正三)	[全席指定] 3000円

すこやか
ライフ

●墨田区保健所のホームページ
http://www.city.sumida.lg.jp/hokenzyo/

●向島保健センター：〒131-0032 東向島5-16-2 ☎3611-6135

●本所保健センター：〒130-0005 東駒形1-6-4 ☎3622-9137

都内の
医療機関
情報案内
(24時間案内)

●都医療機関案内サービス「ひまわり」
☎5272-0303・FAX5285-8080
●東京消防庁「救急相談センター」
▶携帯・PHS・プッシュ回線 ☎#7119
▶23区ダイヤル回線 ☎3212-2323

ご注意ください 保健センターでの検便の年内受付期間

【年の受付期間】▶向島保健センター＝12月24日(火)午後5時まで
▶本所保健センター＝12月25日(水)正午まで
＊いずれも年始の受付は

平成26年1月6日(月)～【問合せ】▶向島保健センター ▶本所保健センター ▶保健予防課感染症係 ☎5608-6191

パブリックコメント(意見募集)を実施します 墨田区がん対策基本方針(改定素案)

区では、がんによる死亡者を減少させるとともに、がん患者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにするため、平成21年11月に「墨田区がん対策基本方針」を策定し、がんの予防と早期発見の推進、在宅医療の充実等に取り組んできました。

この度、この方針の改定素案がまとまりましたので、区民の皆さんのご意見を募集します。

【改定素案の閲覧期間】26年1月10日(金)まで【改定素案の閲覧場所】保健計画課(区役所5階)、区民情報コーナー(区役所1階)、向島保健センター、本所保健センター ＊区ホームページでも閲覧可【ご意見の提出方法】ご意見(A4用紙1枚程度で書式自由)と、住所・氏名(団体名)・電話番号を直接または郵送、ファクス、Eメールで26年1月10日(必着)までに〒130-8640保健計画課健康推進担当 ☎5608-8514・FAX5608-6405・✉HOKENKEIKAKU@city.sumida.lg.jpへ

がんの体験や悩みを分かち合い、支え合います がん相談会「がんサロン SAKURA」(全4回)

「がんサロン SAKURA」は、がん患者とその家族が体験や悩みを語り、分かち合うことを通して、より良い日々を過ごせるよう支え合う場です。毎回、医師などの専門家によるミニ講義を行うほか、個別の相談もお受けします。

ぜひ、ご参加ください。

【とき・内容】下表のとおり【ところ】すみだ女性センター(押上2-12-7-111)【対象】がんと診断されて半年以上の患者とその家族【定員】先着20人【費用】無料【申込み】事前に参加者全員の氏名、代表者の住所・電話番号・参加できる日を、ファクス、またはEメールでNPO法人すみだ在宅ホスピス緩和ケア連絡会あこも ☎5669-8302・FAX5669-8310・✉s-sumida@pallium.co.jpへ ＊申込みは12月26日まで【問合せ】保健計画課健康推進担当 ☎5608-8514

■「がんサロン SAKURA」の日程とミニ講義の内容

とき	ミニ講義(20分程度)の内容
平成26年1月11日	「がん」とはどういう病気か？
26年1月18日	日々の食事の工夫&がんの「お金」に関する制度
26年1月25日	ストレスへの対処&リラクゼーション法
26年2月8日	「最期をどこで暮らしますか？」&活用できる医療・福祉サービス

- ①いずれも土曜日で、時間は午後2時～4時です。
- ②ミニ講義の後、語り合いと個別相談を行います。
- ③ミニ講義の内容は、一部変更になることがあります。

まず、知ることが大切です！ お酒の飲み方で困っている方の講座(本人・家族向け)

アルコール問題に悩むご本人とご家族のために、病気の知識や治療、回復と、家族の対応の仕方などを学ぶ講座を開催します。

【とき・テーマ】▶本人向け＝平成26年1月22日(水)・「お酒からの回復」
▶家族向け＝26年1月27日(月)・「ア

ルコール依存症とは」、「家族の対応について」等 ＊いずれも午後2時～3時半【ところ】向島保健センター【対象】区内在住の方【定員】各日先着15人【費用】無料【申込み】12月12日午前8時半から電話で向島保健センターへ

受診票が届いた方は、ぜひ、受診してください 成人歯科健康診査

区では、お口の健康維持のために歯科健診を実施しています。特に歯周病は初期の段階では自覚症状が少なく、気づかない間に進行します。歯科健診を受けて、歯周病の予防に心掛けましょう。

対象年齢の方には、誕生月の下旬に受診票などをお送りしています。届いていない場合や紛失した場合は、

問合せ先へご連絡ください。

【有効期限】受診票に記載【実施場所】区内実施歯科医療機関【対象】区内在住で、平成26年3月31日現在、20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の方【費用】無料【問合せ】保健計画課保健計画担当 ☎5608-6189

食中毒を予防するために 家庭での食品の取扱いにご注意を

これからの季節は、クリスマスやお正月など、ご家庭でパーティーを開いたり、大量に食事を作ったりする機会が増える時期になります。そのため、調理をする際には、食中毒の予防について、より一層の注意が必要になります。

「食中毒予防の三原則」は、食中毒菌を「つけない」、「増やさない」、「やっつける」です。三原則を守るため、下表のとおり、注意しましょう。

【問合せ】生活衛生課食品衛生係 ☎5608-6943

■食中毒の予防方法

三原則	予防方法
食中毒菌を「つけない」	▶調理をする前には、しっかりと手洗いをする ▶下ごしらえでは、肉は最後に処理する ▶肉や魚を保管する際には、汁が漏れないよう包装してから冷蔵庫内の下段に保存する
食中毒菌を「増やさない」	▶買い物から帰ったら食品をすぐに冷蔵庫で保管する ▶できあがった料理は長時間室温で放置しない
食中毒菌を「やっつける」	▶食品は十分に加熱調理する ▶食肉は生で食べず、しっかりと加熱してから食べる ▶温め直す際には十分に加熱する

ペットとともに暮らしやすいまちづくりに、ご理解とご協力を ペットは愛情と責任をもって飼いましょう

ペットは、飼い主にとって大切な家族の一員です。しかし、マナーを守った飼い方をしなければ、周囲の人にとっては迷惑な存在となってしまいます。飼い主は、ペットも社会の一員として受け入れられるよう、飼い方のマナーに注意しましょう。

また、ペットを虐待・遺棄することは犯罪です。

人と動物が共に幸せに暮らしていくためには、飼い主の皆さん一人ひとりがルールやマナーを守り、ペットに対して愛情を注ぐとともに責任を持って飼育することが大切です。

猫の飼い方には、ご注意ください

猫の飼い主は、猫の特性をよく理解し、▶猫は、自分の縄張りが守られていれば屋内でも快適に暮らすことができるので、病気・交通事故などの危険がある屋外ではなく、屋内で飼う ▶猫は、屋外に出てしまうと戻って来ることがほとんどないので、飼い主の氏名・連絡先を明記した迷子札を装着させるなど、身元を表示する ▶猫は繁殖力が強く、1年間に3回出産することができるので、望まない繁殖を避けるため、不妊・去勢手術を実施する といった点をしっかりと守って飼いましょう。

【問合せ】生活衛生課生活環境係 ☎5608-6939

■猫の飼い方に、ご注意ください

猫の飼い主は、猫の特性をよく理解し、▶猫は、自分の縄張りが守ら

献血にご協力を！

日時・会場についてはお問い合わせください。
【問合せ】東京都赤十字血液センター
☎5534-7550 ＊東京都赤十字血液センターのホームページでもご確認いただけます。

献血キャラクター「けんけつちゃん」

人が輝く 講座・教室・催し

暮らし 健康・福祉 子ども 仕事・産業 税金・国保 文化・スポーツ イベント その他 区政 ほか (区主催以外)
内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 費=費用 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
健康・福祉	心とからだを整える産後のセルフケア講座(全4回)	平成26年1月29日～2月19日の毎週水曜日午前10時～正午	八広地域プラザ(八広4-35-17) 	内産後を快適に過ごすためのセルフケアの方法を学ぶ 対0歳児の母親 定先着12人 *生後210日までの乳児の同伴可(それ以降の乳児は一時保育あり) 費8000円 持タオル、飲物等 申事前に八広地域プラザ ☎6657-1549へ *動きやすい服装で参加 *26年1月19日(日)に体験講座を実施(詳細は、八広地域プラザのホームページを参照)
	地域の力による子育て応援事業「クリスマス会」 	12月22日(日)午前10時～正午	子育て支援総合センター(京島1-35-9-103)	内クリスマス会「ぬり絵芝居と音楽をたのしもう」、おもちゃの交換会 対子どもとその保護者 定先着20組程度 費無料 申事前に住所・氏名・電話番号・メールアドレス、子どもの氏名・年齢を、ファクス、またはEメールで、すみだkomachi 荘司 ☎090-4619-0449・FAX5630-6352・✉sumida_komachi@yahoo.co.jpへ 問子育て支援総合センター ☎5630-6351
子ども	冬の親子料理教室 	12月26日(木)午前10時半～午後2時	すみだ中小企業センター(文花1-19-1)	内学校給食の人気メニュー(ごはん、海苔の佃煮、トビウオのさつま揚げ、ちゃんこ汁)の調理 対区内在住の小・中学生とその保護者 定先着12組 費無料 申12月12日午前9時から電話で学務課給食保健・就学相談担当 ☎5608-6305へ
	すみほり隊「すみだトリビアかるた大会」	平成26年1月5日(日)▶午後1時～2時 ▶午後3時～4時	ひきふね図書館(京島1-36-5)	対おおむね小学校1年生～4年生 定各先着10人 費無料 申当日直接会場へ 問ひきふね図書館 ☎5655-2350
	ジュニア育成冬季ソフトテニス教室 	平成26年1月12日～3月30日の毎週日曜日・祝日午前9時～正午	墨田五丁目テニスコート(墨田5-16-14)	対小学校4年生～中学生 費無料 持テニスシューズ(運動靴)*ラケットの無料貸出しあり 申住所・氏名・年齢・電話番号を直接または電話、はがき、ファクスで各開催日の前日(必着)までに墨田区ソフトテニス連盟事務局 猪飼直茂(〒131-0041八広2-12-11) ☎・FAX3617-4123へ *当日会場でも申込可
文化・スポーツ	キンボールスポーツ体験教室	12月14日(土)午前10時半～正午	曳舟小学校(京島1-28-2)	対区内在住の小学生以上 費無料 持室内用の運動靴、飲物 申当日直接会場へ 問スポーツ振興課スポーツ振興担当 ☎5608-6312
	第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)「応援ありがとう展示会」	12月15日(日)～20日(金)午前10時～午後4時 *最終日は正午まで	区役所1階アトリウム、すみだリバーサイドホール1階ギャラリー(区役所に併設)	内大会記録写真・“ゆりーと”関連作品・合作ちぎり絵の展示や、手作り横断幕・のぼり旗の掲示等 【入場料】無料 申期間中、直接会場へ 問スポーツ振興課国体開催準備担当 ☎5608-6520
	「フウガすみだ」準会員リーグ公式戦無料招待&Fリーグ昇格セレモニー	12月23日(祝)▶公式戦=午後2時～ ▶セレモニー=午後4時15分～ *入場は午後4時～	区総合体育館(錦糸4-15-1)	対区内在住在勤在学の方 定▶公式戦=50人(抽選) 費無料 申▶公式戦=住所・氏名・年齢・電話番号をEメールで12月18日までに、フウガすみだ事務局 ✉info@fuga-futsal.comへ *抽選結果は12月20日までに返信 ▶セレモニー=当日直接会場へ 問スポーツ振興課スポーツ振興担当 ☎5608-6312
	コース型教室「初心者ヨガ」(月曜日A・Bコース、水曜日C・Dコース、金曜日Eコース～Hコース)	平成26年1月6日(月)～3月31日(月) *26年1月13日(祝)、1月20日(月)～2月14日(金)、3月21日(祝)を除く *各コースの日程の詳細は申込先へ	両国屋内プール(横網1-8-1) 	対区内在住在勤で16歳以上の方 定各コース先着30人 費▶Aコース～Dコース=各コース8400円(全8回) ▶Eコース～Hコース=各コース7350円(全7回) 申事前に電話連絡のうえ、直接、両国屋内プール ☎5610-0050へ
	コース型教室(各教室全8回～13回) 	平成26年1月6日(月)～3月31日(月) *各教室の日程の詳細は申込先へ	スポーツプラザ梅若(墨田1-4-4)	種キッズ・チアダンス、ジュニアカンフー、フラダンスなど、全10教室 *対象・定員については申込先へ 費各教室8400円～1万3650円 *1日体験は各教室1050円 申事前に直接、スポーツプラザ梅若 ☎5630-8880へ
イベント	区民体育祭「少年サッカー大会」	平成26年2月2日(日)・9日(日)・11日(祝)・16日(日)午前8時～午後4時	荒川四ツ木橋緑地少年サッカー場(東墨田二丁目地先)ほか 	費1チーム4000円 *26年1月19日(日)午前9時から、すみだ中小企業センター(文花1-19-1)で実施する代表者会議で支払 申12月12日～25日に電話で、スポーツ振興課スポーツ振興担当 ☎5608-6312へ 問墨田区サッカー協会 小林雄二 ☎090-2240-9409
	年越しそばを食べよう	12月29日(日)午前11時～	すみだ健康ハウス(東墨田1-2-6)	定先着120人 費無料 *別途、すみだ健康ハウスの施設利用料(▶高校生以上=700円 ▶小・中学生=300円)が必要 申当日直接会場へ 問すみだ健康ハウス ☎3610-5711
	介護保険事業運営協議会の傍聴	12月19日(木)午後2時～	区役所会議室122(12階)	定先着5人 申事前に介護保険課管理・計画担当(区役所4階) ☎5608-6924へ *協議会の議事録は後日、区民情報コーナー(区役所1階)、区ホームページで閲覧可
その他	第12回「肝臓病教室」 	12月14日(土)午後2時～4時	国立国際医療研究センター国府台病院(千葉県市川市国府台1-7-1)	費無料 申当日直接会場へ 問国立国際医療研究センター国府台病院 ☎047-375-4757 *講義終了後、肝炎・肝硬変・肝がん等の個別相談を実施

いきいきすみだ 募集

暮らし 健康・福祉 子ども 仕事・産業 税金・国保 文化・スポーツ イベント その他 区政
内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 選=選考方法 費=費用 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ

区分	名称	内容・対象等	申込み・問合せ等
その他	男女共同参画推進プラン(第4次)のパブリックコメント(意見募集)	【プランの閲覧場所】人権同和・男女共同参画課(区役所12階)、区民情報コーナー(区役所1階)、すみだ女性センター(押上2-12-7-11)、各図書館・コミュニティ会館 *区ホームページでも閲覧可	【ご意見の提出方法】ご意見(A4用紙1枚程度で書式自由)と、住所・氏名(団体名)・年齢・性別・電話番号を郵送または、ファクス、Eメールで平成26年1月10日(必着)までに〒130-8640人権同和・男女共同参画課男女共同参画担当 ☎5608-6512・FAX5608-6596・✉JINKEN@city.sumida.lg.jpへ

人が輝く

講座・教室・催し

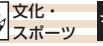
暮らし

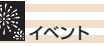
健康・福祉

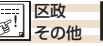
子ども

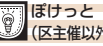
仕事・産業

税金・国保

文化・スポーツ

イベント

区政その他

ほけっと(区主催以外)

内=内容

種=種別

対=対象

定=定員

費=費用

持=持ち物

申=申込み

問=問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
 暮らし	健康な体はお口から「お口のエチケットケア講座」	12月20日(金) 午前10時～11時	本所地域プラザ(本所1-13-4)	内 オーラルケアマイスターによる講座 対 20歳以上の方 定 先着40人 費 無料 申 事前に本所地域プラザ ☎6658-4601へ
	リサイクルブック市	12月21日(土) 午後1時～4時	ひきふね図書館(京島1-36-5)	内 図書館で不用となった図書(雑誌・児童書を除く)の配布 *1人につき5冊まで 費 無料 申 当日直接会場へ 問 ひきふね図書館 ☎5655-2350
	第3回エコライフ講座「素敵にペーパークラフトカレンダーで手提げ袋作り」	平成26年1月17日(金) 午後2時～4時	すみだ環境ふれあい館(文花1-32-9) 	内 不用になったカレンダーで、おしゃれな手提げ袋を作る 対 区内在住在勤の方 定 先着30人 費 無料 持 不用になったカレンダー(A4判以上のもの)2枚、はさみ、のり 申 12月11日午前9時から環境保全課環境管理担当(区役所14階) ☎5608-6207へ
 健康・福祉	「すみだハート・ライン21」・「ミニサポート事業」の事業説明会と入門研修	12月19日(木) 午前10時～正午 	すみだボランティアセンター分館(亀沢3-20-11関根ビル4階)	対 地域の支え合いに関心があり、熱意を持って家事援助等の活動に協力してくださる18歳以上の健康な方 定 先着20人 費 無料 申 事前に電話で、すみだハート・ライン21事業室 ☎5608-8102へ *協力会員への登録方法の詳細は申込先へ
	なりひら認知症家族会(ふくの会)	12月21日(土) 午後1時半～3時半	なりひらホーム(業平5-6-2)	内 参加者同士の悩みの共有・情報交換 対 区内在住で認知症の方を介護している家族 定 先着10人 費 無料 申 事前に、なりひら高齢者支援総合センター(なりひらホーム内) ☎5819-0541へ
	介護のはなし「福祉用具に触れてみよう」	12月26日(木) 午後2時～4時	八広地域プラザ(八広4-35-17)	内 自宅で使える福祉用具(車椅子等)の体験 定 先着40人 費 無料 申 事前に八広地域プラザ ☎6657-1549へ *申込みは12月24日まで
	健康づくり教室「初心者向けリズム体操教室」(各コース全6回)	平成26年1月8日～2月12日の毎週水曜日▶1時半コース＝午後1時半～2時50分▶3時コース＝午後3時～4時20分	すみだ福祉保健センター(向島3-36-7) 	対 区内在住在勤の成人で、医師から運動を制限されていない方 定 各コース15人(抽選) 費 無料 申 12月18日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608-3729へ
	高齢者向け「ストレッチ&ヨガ教室」(全6回)	平成26年1月10日～2月14日の毎週金曜日 午前10時～正午		対 区内在住の60歳以上で、医師から運動を制限されていない方 定 20人(抽選) 費 無料 持 タオル、飲物 申 12月16日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608-3721へ
	ピア・カウンセリング公開セミナー 	平成26年1月11日(土) 午前10時～午後3時		内 対等な立場で、同じ仲間として気持ちを聴き合うカウンセリングの手法「ピア・カウンセリング」の体験 定 15人(抽選) 費 無料 申 講座名・住所・氏名・ファクス番号を直接または電話、ファクスで12月17日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608-3723・FAX5608-3720へ *申込時に手話通訳、磁気ループの希望可
	身体障害者向け「パソコン教室“パソコンの基礎を学びましょう”」(全3回)	平成26年1月15日(水)～17日(金) 午前10時～正午 		対 区内在住の18歳以上で、上肢・下肢に障害のある方または内部障害のある方 定 10人(抽選) 費 100円 申 講座名・住所・氏名・年齢・ファクス番号を直接または電話、ファクスで12月17日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608-3723・FAX5608-3720へ
	高齢者食育料理教室「手作り肉まんにチャレンジ」	平成26年1月20日(月) 午前9時半～正午	立花ゆうゆう館(立花6-8-1-102)	対 区内在住で60歳以上の方 定 15人(抽選) 費 500円(材料費) 申 12月16日までに立花ゆうゆう館 ☎3613-3911へ
	身体障害者向け「健美操教室」(全4回) 	平成26年1月20日～2月10日の毎週月曜日 午前10時～正午	すみだ福祉保健センター(向島3-36-7)	対 区内在住の18歳以上で身体に障害があり、医師から運動を制限されていない方 定 15人(抽選) 費 無料 申 講座名・住所・氏名・年齢・ファクス番号を直接または電話、ファクスで12月17日までに、すみだ福祉保健センター ☎5608-3723・FAX5608-3720へ *申込時に手話通訳、磁気ループの希望可

すみだレポート

《まちの話題をご紹介します》

聴覚障害者と区民ボランティアが「防災ワークショップ」を実施

墨田区聴覚障害者協会と手話サークル「すみだ」は、大地震を想定した「防災ワークショップ2013」避難所生活を体験してみよう」を開催しました。この防災ワークショップは、災害時における聴覚障害者の行動と支援について考えようと、平成19年から毎年行われています。今年も、学校の体育館を会場に、アルファ米の非常食づくりやダンボールを利用した間仕切りの組み立てなど、実際の避難所を体験しました。また、「避難所では支える側にもなりた

い」という思いから、足湯作りや、コップ1杯のお湯とタオルで避難者の体を拭く清拭の方法も学びました。墨田区聴覚障害者協会の荘司康男会長は手話を用いて「今日の体験から学んだことを忘れずに、備えを継続することが大切。今後も訓練を重ねていきたい」と話していました。



北斎のみた富士

北斎ミニギャラリー ③③

この北斎ミニギャラリーでは、現在開設準備中の「すみだ北斎美術館」に収蔵する「富嶽三十六景」シリーズの作品をご紹介します。

ふかがわまんねんぼした
「富嶽三十六景 深川万年橋下」(大判錦絵)

おなぎわ
小名木川にかかる万年橋の下から、遠方に富士山を望む図です。小名木川は、下総国葛飾郡行徳(現・千葉縣市川市)から江戸へ塩を運ぶために開削された川です。北斎は荷物を積んだ船を水上に描いています。川では釣りをしている人も見られ、橋上には行き交う人々がびっしりと描かれており、深川界限の賑わいが窺えます。大きな弧を描く橋とその下からのぞく富士山という組み



合わせは、北斎が好んで描いた構図の一つでした。
【問合せ】文化振興課北斎美術館開設担当 ☎5608-6115

☎ = 電話

FAX = ファクス

✉ = Eメール

🌐 = ホームページアドレス